

## ◆足をのびして・・・地域の見どころをご紹介します！◆

スマートフォンでQRコードを読み取って検索してください！

★八尾観光 WEB



★東大阪観光協会



★かしわらガイドマップ



★中部地域の朝市・直売所ガイド



☆このマップに関するお問い合わせ

築留土地改良区	TEL : 072-972-0761
八尾市 都市整備部 土木建設課	TEL : 072-991-3881
柏原市 都市デザイン部 都市管理課	TEL : 072-972-1501
東大阪市 土木部 河川課	TEL : 06-4309-3000
大阪府中部農と緑の総合事務所	TEL : 072-994-1515

2018年10月作成

## 世界かんがい施設遺産「大和川分水築留掛かり」 長瀬川見どころマップ



### 長瀬川水辺環境づくり推進協議会 (築留土地改良区・八尾市・柏原市・東大阪市・大阪府)

#### ★見どころ紹介★

##### ①延命寺

寛文2年(1662年)ごろ、京都石清水八幡宮の祠のそばに一堂を建て、地蔵菩薩を安置したのが始まりといわれ、その後いく度か場所を移し、大正13年(1924年)に現在の地へ移ってきました。地蔵堂の本尊、地蔵菩薩坐像は、鎌倉時代末～室町時代の作で、府下でも類のない高さで4.25mもあります。寺の本尊の木造阿彌陀如来立像は藤原時代の作で、高さ1.55m寄木造りで保存度が良く、地蔵堂の本尊と共に大阪府の有形文化財に指定されています。



##### ②樟徳館 帝国キネマ長瀬撮影所跡

(国登録有形文化財)  
帝国キネマ長瀬撮影所跡に樟徳学園の初代理事長の私邸として昭和14年(1939年)に建てられました。屋敷内は書院造り系統の主屋のほか諸建物と洋式接客棟からなり、和洋折衷の建物です。最高の材料を使用し、造形の規範となることなどから、平成12年(2000年)11月に国の登録文化財となりました。  
※屋敷内の公開は、通常行われていません。



##### ③久宝寺寺内町

蓮如上人が布教に訪れた際に「帰する者市の如し」の例え通り多くの民衆が帰依し、明応年間(1492～1501年)に西証寺、後の顕証寺を建立しました。そして、この久宝寺御坊顕証寺を中心に、畿内随一の環濠集落として久宝寺寺内町が誕生しました。久宝寺寺内町は交通の要所であり、活発な商業活動が展開されました。現在の久宝寺寺内町は環濠や土居の一部がその名残をとどめていますが、町割りは、ほぼ昔のまま残っています。



##### ④剣先舟着き場跡 (けんさきふなつきばあと)

長瀬川は旧大和川の本流で古くはおよそ200メートルの川幅があり、人と物資の運搬で川舟が往来していました。八尾と久宝寺の人々の共同出資で剣先船が人や米、木材などを今日橋まで運び、年貢米の運送や、大阪、淀などへの往来でにぎわっていました。



##### ⑤安中新田会所跡旧植田家住宅 (国登録有形文化財)

旧植田家住宅は江戸時代の大和川付け替えにより造られた安中新田の会所跡を継承した歴史的に貴重な建物です。建物と安中新田会所跡を一般公開し、併設した展示室では旧植田家所蔵の古文書や絵画、民具なども展示しています。  
[観覧料]  
一般/250円  
高校・大学生/120円  
中学生以下は無料



##### ⑥渋川神社

渋川神社は式内社で天忍穂耳命(あめのおしほみのみこと)・饒速日命(にぎはやひのみこと)を祀っています。この地一帯は、物部氏の住地でこの社は古くは竜華寺の鎮守であったといわれます。鳥居前の観音堂はむかしの官寺の一部で、境内にある樹齢1000年という大楠樹は、玉祖神社(神立)善光寺(垣内)の楠とともに大阪府指定の天然記念物です。



##### ⑦天王寺屋地蔵尊・稲生(いなり)神社

天王寺屋地蔵尊は、永仁5年(1297年)鎌倉時代末期の造立と考えられ、八尾市内では最古の地蔵石仏です。稲生神社の由来や起源は定かではありませんが、1704年の大和川付け替えでできた天王寺屋新田の五穀豊穡を願って建てられた稲荷社と思われ、天王寺屋新田を開発した和泉の天王寺屋吉兵衛が建てたものかもしれません。



##### ⑧由義寺(ゆげでら)跡(国史跡)

平成28年(2016年)9月に東弓削遺跡において由義寺に関連すると考えられる奈良時代後期の瓦が多量に出土し、その後の調査の結果、塔の基壇が確認されました。塔の基壇は、平城京にある東大寺東塔に次ぐ大きさで、東大寺と同様に七重塔であった可能性が高いと考えられています。『続日本紀』の770年のところに記されていた称徳天皇と道鏡が設立した由義寺の場所が明らかになり、称徳天皇がこの地に置いたとされる幻の都「由義宮(西京)」を考えるうえで重要な発見です。平成30年(2018年)2月に国の史跡に指定されました。



##### ⑨弓削(ゆげ)神社

弓削氏の祖神である天日鷲羽矢命(あめのひわかけるやのみこと)と物部氏の祖神の彌加布都神(みかふつのかみ)比古佐自由都神(ひこさじふつのかみ)の二座をまつる延喜式内社で、河内国でも枚岡、恩智社に次ぐ三指に数えられた大社でした。



##### ⑩万葉歌碑

この付近は、旧大和川の河川敷にあたり弓削の河原と呼ばれたところ。この歌は、弓削の河原にある埋れ木がやがて現れるようにわたしたちの仲は世間に知られないはずもないという心情が読まれたものです。万葉集に唯一、八尾市内の地名が歌いこまれている一首だそうです。



##### ⑪西村市郎右衛門頌徳碑 (にしむらいちろうえもんしょうとくひ)

宝永元年(1704年)の大和川の付け替えで、旧大和川流域の灌漑(かんがい)用水が乏しくなったため、流域の村々は新大和川から井路川へ水をひくことを請願しましたが、許可される前に大旱魃(だいかんぱつ)にあい農民は困苦にあえいでいました。このため弓削村の庄屋西村市郎右衛門は、幕府の許可を待たずに二つの樋を開いて農民を救いましたが、捕えられ大阪城中で客死、家財没収一家は断絶となったと伝えられています。



##### ⑫二俣分水(ふたまたぶんすい)

この地は旧大和川が、いまの玉串川と長瀬川に分水するところです。宝永元年(1704年)10月今米村(旧河内市、現東大阪市)の中甚兵衛らによって四十数年にわたる請願が遂に幕府を動かし、いまの大和川へ川筋が付け替えられました。その後、この地一帯の旧河川敷は東弓削、弓削の人々によって開墾されて、「二俣新田」と名付けられ地名となりました。



##### ⑬アクアロード柏原

長瀬川に親しんでもらえるよう、平成3年度から河川、下水道、道路との一体的な整備(アクアロード柏原)を行い、平成9年(1997年)に完成しました。さらに同年、建設省(現:国土交通省)の手作り郷土賞を受賞しました。親水テラスやベンチなどの休憩施設、いろはかるた等があり、散歩路としても親しまれています。



##### ⑭大和川治水記念公園

大和川付け替え地点は堤を築いて大和川の流れを留めたことから「築留(つきどめ)」といわれます。平成2年(1990年)に治水記念公園として整備され、大和川の付け替えに尽力した中甚兵衛の銅像が立っています。この銅像は甚兵衛着用品と伝えられる陣羽織を着て、左手に丸めた書類を持ち、右手は遠くを指差しています。像以外にも、説明板や付け替え250周年の記念碑などが建っています。



##### ⑮築留二番樋(国登録有形文化財)

この樋は1704年に付け替えられた大和川から農業用水として長瀬川・玉串川に取水するもので、明治21年(1888年)に煉瓦造りに作り替えられたものです。アーチ部は基本的にイギリス積みを採用し、アーチの形は水路や樋門では珍しい馬蹄形をしています。国の登録有形文化財に指定されています。



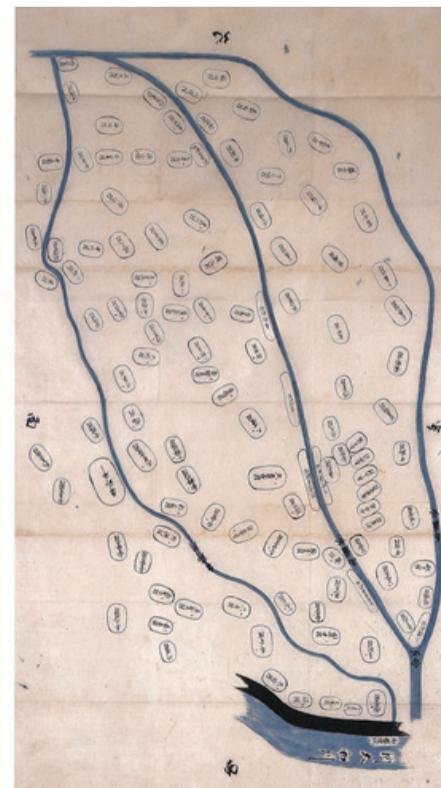
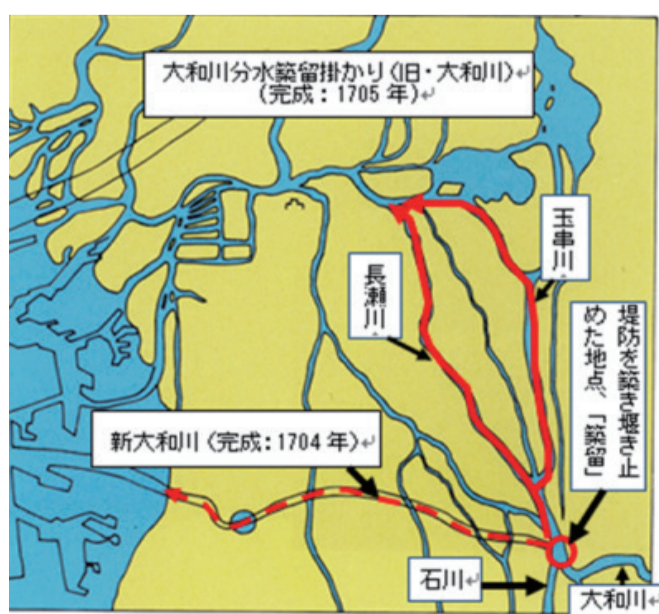
##### ⑯柏原市立歴史資料館

市内の遺跡から出土した考古資料で旧石器時代から中世の地域の姿を紹介しています。古文書や民具なども併せて展示しています。さまざまな企画展もっており、秋季企画展では毎年「大和川のつけかえ」をテーマにしています。  
・開館時間  
午前9時30分～午後5時  
・休館日 月曜日  
(祝日の場合は開館、翌日の火曜日も開館)  
・年末年始(12月29日～1月3日)も休館



## 世界かんがい施設遺産「大和川分水築留掛かり」と長瀬川

「大和川分水築留掛かり(やまがわぶんすいつきどめかり)」は長瀬川・玉串川の2つの用水路を指し、その歴史は300年以上前にさかのぼります。洪水対策として行われた大和川の付け替え工事に伴い川からの用水供給が遮断されるため、旧河川敷に流域の村々が用水路建設を計画し、わずか半年ほどで完成して流域の用水は確保されました。維持管理は75もの村で組織される「築留樋組」が行いました。これは当時他に類をみない大きな管理組織でした。このことにより農地の生産性は格段に向上しました。新田開発も進んで約4000haもの大農業地帯となりました。やがてこの地域は綿の大産地となり、収穫綿から作られた「河内木綿」は品質も良く全国ブランドとして流通し、農業だけでなく商業の発展にも大きく寄与しました。1888年に改修された「築留(つきどめ)二番(にばん)樋(ひ)」は、外国から導入し最先端の建築資材であった煉瓦(れんが)を使用しています。当時の建築景観を今に伝える重要な建築物として、国登録有形文化財になっています。近年、経済成長による社会情勢の変化で地域は都市化する中、水路はかんがい施設のみならず貴重な水辺空間として人々に愛され、非農家や子供も協力して沿線の植物帯の管理や清掃を行うなど、良好に管理されています。これらが評価され、2018年、国際かんがい排水委員会(ICID)より「世界かんがい施設遺産」として登録されることになりました。



①築留・青地樋用水樋組合村々絵図(北を上に変更)  
(小山家文書・作成年不明)  
右から玉串川、長瀬川



②築留樋前堀開仕切り絵図  
建設後、大和川からの取水ルールを定めた図面



③定石(さだめいし)  
玉串川井樋前に現存。干ばつになってもこの石が水面から出ないように管理した  
※①② 資料提供協力: 柏原市立歴史資料館